

《超軽量ねんど作品》

誠文社

今回はこの2種類の粘土を使いました。



誠文社：超軽量紙ねんど「ニューバルポップ」



誠文社：なめらかホイップねんど Jr

できあがりの作品は2種類です。ペットボトルのペン立てと写真立てを作りました。

① 写真立て



シンプルな写真立てのフレームに粘土でデコレーションをしました。

② ペン立て (ペットボトル使用)



ペットボトルの周りに粘土を付けて、その次に粘土で作ったスイーツを付けました。

使ってみての感想

超軽量紙ねんど ニューパルポップ

超軽量と書いてある通り、重量はほとんど感じませんでした。使い心地や手触りも軽いです。

ずっと触っていたくなるくらい気持ちのいい感触でした。

そのままでは手につかないですが、水彩絵の具で着色をした際、絵具の割合が大きくなると粘土が手にくっつきやすくなりましたが通常の着色の程度であれば問題ないと思います。

着色の際、捏ね具合によっては少し手が汚れることがありますが、水彩絵の具なので簡単に落ちるので安心です。

水彩絵の具での発色はとても鮮やかでした。粘土自体は真っ白なので思い通りの色も作りやすかったです。

ペットボトルの種類にも関係するのかもしれませんがくっつける時はちょっと苦労しました。

今回はアルミホイルをくしゃくしゃにして伸ばし、シワを付けた状態で巻いてその上から粘土を付けました。

ホイップねんど Jr

絞り出すのに最初は少し力が必要でしたが、絞った後はクリームのように崩れずに保って綺麗な仕上がりでした。

今回はクリームを2種類にしたかったので絞り口を別に準備しましたが、袋の下側をギザギザにはさみなどで切ることでそのまま波型に絞り出すことができるので便利です。

ホイップが固いと感じる場合は少量の水を混ぜることで調整可能です。

別の使い方としては布などの柔らかい素材にぬり、好きな形を保ち乾燥させることでそのままの形に固まるようなので立体的な作品もでき、作品の幅もひろがりそうです。

また、ホイップにも絵の具を混ぜて絵を描くことで、その部分が浮き出たような絵になるようです。

おまけ ～粘土スイーツ、果物の作り方～

●キウイ



濃い緑に
着色します。



長細く延ばして



スライスして



真ん中を白い
絵の具で着色



周りにマジックで
種を書いたら
できあがり♪

●みかん



しゅ色を使って
みかん色に着色します。

みかんの形に成形し、
真ん中を少し窪ませます。

ヘアピンの後ろのわっかの部分で
つぶつぶ模様を付けてできあがり♪

●バナナ



黄色と黄土色で
着色します。

カッターの背などで模様を付けます。

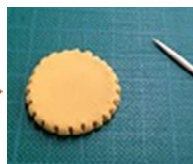
スライスして爪楊枝で
Yみたいな模様を付けます



薄めた黄土色を塗ります。
ムラがあるほうがリアルです。

こげ茶色で点々を書いて、乾ききらないうちに
爪楊枝でぼやかしてできあがり♪

●ビスケット



黄色と黄土色で
着色します。

薄く伸ばします

爪楊枝で回りに
均等に模様を付けます。



文字等も爪楊枝で付けてできあがり♪

●アイスボックスクッキー



ビスケットより薄い色のものと
茶色と黒で濃い色の2種類を作り、
色が隣り合わないよう組み立てます。

スライスしたら
できあがり♪

●おだんご



赤でピンクのおだんご、
黄緑で黄緑のおだんごを作ります。

爪楊枝で1粒ずつ
刺したらできあがり♪

●アイスクリーム



筋ができるように絵の具を
置きます。ムラを残すので
捏ねすぎないように。

計量スプーン等で
形を付けます。

スポンジ



余分な部分を切り取ります



食器用スポンジの荒い部分で
模様を付け、質感を出します



できあがり～♪